

## 平成29年度小中一貫教育推進モデル校事業報告書

1. 市町村教育委員会等の名称 : 

二宮町	教育委員会
-----	-------

### 2. 取組の実績

#### (1) 取組のねらい

- ・いわゆる「中1ギャップ」の解消
- ・外国語活動の教科化を見据えた小・中連携による英語教育の推進
- ・9年間を見通した系統性のあるカリキュラム作成による児童・生徒の学力や学習意欲の向上
- ・小学校高学年における学習内容の高度化への対応。

#### (2) 取組の実施状況（平成29年度）

4月	<ul style="list-style-type: none"><li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li><li>●カリキュラムづくり (外国語活動・英語教育担当者会において趣旨説明) (教務担当者会において、各教科・領域等の担当(ワーキンググループ) (以下WG)のメンバーを検討)</li></ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"><li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li><li>●カリキュラムづくり (WGのメンバーを検討)</li></ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li><li>●カリキュラムづくり (WGを組織し代表者を決定)</li><li>●小中一貫カリキュラムワーキンググループミーティング (研究の概要説明、先行事例の研究)</li><li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (教頭間の情報交換と打ち合わせ)</li></ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"><li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり、校内研修会)</li><li>●カリキュラムづくり (外国語活動・英語教育担当者会において、先進地区のカリキュラム研究や身に付 きたい力等の確認)</li><li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (教頭間の情報交換と打ち合わせ)</li></ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (小学校教員との授業づくり、校内研修会)</li><li>●カリキュラムづくり (小中一貫教育研修会においてカリキュラムづくりについての講演会) (全教員による先進地区カリキュラムの研究、身につきたい力等の確認) (WG代表者会における各教科等の進捗状況の確認)</li><li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (教頭間の情報交換と打ち合わせ)</li></ul>

9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり、校内研修会)</li> <li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (教頭間の情報交換と打ち合わせ)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li> <li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (小学校教諭の中学校での授業参観や話し合い等)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li> <li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (小学校教諭の中学校での授業参観や話し合い等)</li> <li>●カリキュラムづくり (WG代表者による進捗状況の確認)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li> <li>●小学校教員による中学校への乗り入れ指導 (小学校教諭の中学校での授業参観や話し合い等)</li> <li>●カリキュラムづくり (WG代表者による小学校・中学校学習指導要領解説小中つながり抜粋資料の作成)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li> <li>●カリキュラムづくり (WG代表者による小学校・中学校学習指導要領解説小中つながり抜粋資料の作成)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり)</li> <li>●カリキュラムづくり (WGごとに小学校・中学校学習指導要領解説小中つながり抜粋資料の説明会開催)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校英語科教員による小学校への乗り入れ指導 (5・6年生の授業、小学校教員との授業づくり、校内研修会)</li> <li>●カリキュラムづくり (WGごとに小学校・中学校学習指導要領解説小中つながり抜粋資料の説明会開催)</li> </ul>

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

## (3) 取組の成果

小中一貫カリキュラムWGの活動を通して、小学校と中学校の教員が顔を合わせる機会が増加し、これまで以上に小・中学校教員の交流があり、相互理解の良い機会になった。また、小学校・中学校学習指導要領解説小中つながり抜粋資料の作成過程で、これまで意識されていなかった縦のつながりについて理解を深め、小学校・中学校それぞれの具体的な学習内容や児童・生徒のつまずきについて情報共有できたことは、大きな成果であった。この活動を通して、教員の中に、中1ギャップ解消に向けた意識が高まった。また、小中一貫教育英語科指導研究員の小学校への乗り入れ指導は、小学校の外国語活動・外国語科の実施に向けて、今後の方向性を確認し、学級担任の意識を変える良い機会になった。さらに、小学校教員の乗り入れ指導は、中学校の指導法等について理解させ、小学校での指導に生かすことのできる良い機会になった。

※取組において実施した具体的な取組の成果について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

## (4) 今後の取組予定

今後は、WGでの活動を充実させ、カリキュラムの完成に向けて取り組む。特に重点化を図る教科等に据えた外国語活動・外国語、算数・数学については、平成30年度中、その他の教科等については平成31年度中の完成を目指す。また、WG内での授業参観等を通しての交流を充実させ、異校種間の相互理解を図ることにより、9年間を見通した指導の定着を図りたい。

※ [取組II] における来年度以降の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）の電子媒体がある場合は、併せて送付すること。